

主な意見		取組等への反映	
プラン全体・第1期計画・人口ビジョン編			
1	札幌市として考えていることを国に対してきちんと言っていくことが必要。	総合戦略編 第4章 プラン推進に当たって	<国への働きかけ> 地方創生が真に実効性を伴った取組となるよう、この計画に基づき、北海道や他の市町村に加え、他の政令指定都市とも連携し、様々な機会を捉えて国に対して積極的に提案等を行うこととします。
2	第1子を出産してから、第2子までの時間がない。	人口ビジョン編 第3章-1 札幌市の自然動態に関する考察	7晩婚化・晩産化に関する考察を追加しました。
3	若者ワークショップや市民シンポジウムについて、目的を明確にして行うべき。	-	若者ワークショップと市民シンポジウムでは、札幌市の現状を伝え課題を共有するとともに市民のまちづくりへの関心を醸成することを目的として実施しました。
4	もっと札幌市としてこうしたいというビジョンの話をしてもいいのではないか。	人口ビジョン編 第4章-2 目指すべき札幌の将来	目指すべき将来のひとつとして「人をひきつけ、住み続けたい魅力を生み出していく」を掲げ、第1期プランの「地域に定着できる環境づくり」という観点からさらに発展させた札幌市としてのビジョンを示しました。
基本目標1 質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり			
5	自宅のできる仕事を生み出してほしい	基本目標1-(2)-① ●ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への支援	市内中小企業等を対象に、テレワーク導入や業務管理システム導入に対する補助の充実を図ります。
6	アウトバウンド（新製品、グローバル展開）の成長支援をしていったらよいのではないか	基本目標1-(1)-③ ●海外への販路拡大	海外における販路拡大のため、海外拠点の運営や海外都市と連携した経済交流事業により市内企業の海外展開支援を充実します。
7	家族を作る年齢の人が集まってきたらおのずと出生率は上がる。魅力ある街にして、他との比較優位を打ち出すべき。 また、街の魅力が若い人に伝わっておらず、もっとア	基本目標1-(3) 行きたくない・暮らしたくない魅力づくり	札幌の定住・交流人口増加を図るため、まちの魅力を高める取組として冬季アクティビティやスポーツ・文化イベントの充実を図ります。
8	働きたい、働ける高齢者にどのように活躍していただくか考えることが必要。	基本目標1-(2)-③ ●高齢者の活躍推進	ジェロントロジーの観点を取り入れ、高齢者の就業及び市内企業の人材確保を支援するため、体験付き仕事説明会を開催するほか、シルバー人材センターに対して運営支援等を行います。
9	医療に関連した観点で産業育成を考えることも必要。	基本目標1-(1)-① ●開発・研究による付加価値創出	今後の成長が期待される健康福祉・医療関連企業の研究開発補助を実施するほか、ビジネス拡大の支援等を行います。

主な意見		取組等への反映	
10	学生と地元の企業をマッチングできる、あるいは学生がもっと情報を得やすくするような環境づくりが重要。	基本目標1-(2)-② ●市内企業への就職促進	学生が企業の魅力を知り、企業の採用力を強化するインターンシップ促進事業を新たに実施します。 また、新たな取組として奨学金返還支援事業を実施し、学生が地元企業に目を向ける機会を充実します。
11	外国人について労働力としてのみではなく、外国人の起業などによって日本人の働く場が増え地域経済に貢献する視点も持ってほしい。	基本目標1-(2)-② ●外国人材との共生	人手不足が深刻な産業などにおいて外国人材に対するニーズを把握するほか、高度な技術を持つ海外IT人材獲得に向けた取組について検討を進めます。
12	インターンシップについて、就職活動の前に限らず時期も含めて多様な選択肢があるとよい。中高生のうちに体験できてよいのではないか。	基本目標1-(2)-③ ●学生を対象とする人材育成	新たに実施するインターンシップ促進事業において、大学1～3年生を対象に複数回のインターンシップを開催します。また、小学生から高校生を対象としたものづくりやIT分野の体験機会の創出・充実を図ります。
基本目標2 結婚・出産・子育てを切れ目なく支える環境づくり			
13	乳幼児だけではなく、学校教育も見通した支援を考えてほしい。	基本目標2-(3)-① ●多様な学びの機会の充実	学びの機会を充実させるため、少人数学級の対象拡大など、少人数教育の充実を検討するほか、多様な経験や技能を持つ地域人材・企業等外部人材の協力を得て、魅力ある学びや体験の場を子どもたちに提供していきます。
14	結婚・出産・子育てに対する不安やネガティブなイメージを払しょくする取組が必要。	基本目標2-(1) 子どもを生み育てる世代への切れ目のない支援	プランが掲げる札幌市が目指す将来像を市民と共有し、結婚・出産・子育てに対する不安を軽減する取組を実施します。
15	婚活サイトのように社会が結婚に関して手助けできるものがないか考える必要がある。	基本目標2-(1)-① ●若者の出会いの場づくり	若者の理想のライフプランの実現を支援するため、結婚を希望する若者同士が出会い、結婚に結びつくための機会を創出します。
16	女性は育児、男性は仕事という固定的意識や、男性の育児休業の取得が僅かである現状からすると、男性の働き方改革にも取り組むべき。	基本目標2-(2)-① ●父親の子育て参加の推進	父親の積極的な子育てを推進するため、父親に対する意識改革・啓発や子育てに取り組む意欲を向上させるための情報発信等を新たに実施します。
17	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、児童相談所の体制等の現状からすると、本当にこのまちで安心して子育てできるのか、という観点で、第2期の施策を練っていくべき。	基本目標2-(3)-② ●子どもを守る体制の充実・強化 ●支援を要する子どもを支える環境の充実	スクールカウンセラーの活用を充実するほか、学校だけでは解決困難な事案に関係機関と連携して対応するため、スクールソーシャルワーカーを派遣します。 また、専門的な相談支援拠点としての第二児童相談所への着手や、各区保健センターの機能強化等を通して、児童虐待への迅速かつ適切な対応を図ります。
18	「思う」「考える」指標という意識系のKPIだけでなく、数字で検証できるKPIも盛り込むべき。	—	客観的に効果を検証できるようにするために、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業数」、「主要文化芸術施設の利用者数」、「ひろば型子育てサロンでの年間相談件数」など、主観に影響されないKPIを新たに設定しました。